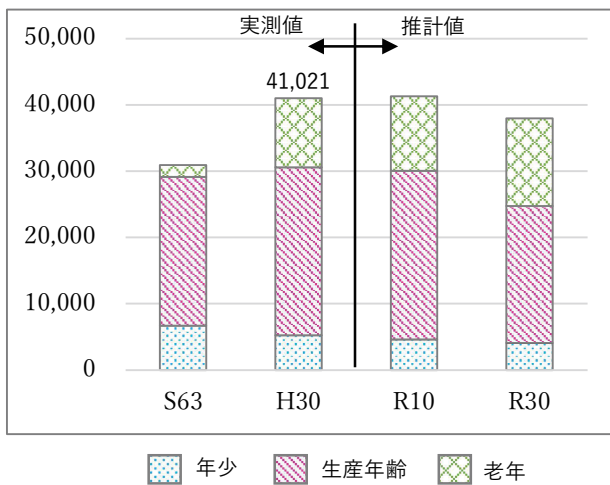


3. 第五中学校圏域

(1) 人口の状況

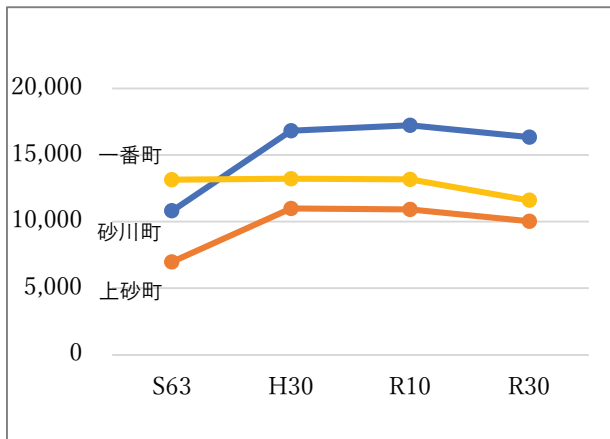
圏域に含まれる町別の人口推計では、今後10年程度の砂川町の人口は増加が見込まれ、上砂町、一番町では緩やかな減少が見込まれています。今後30年では3町共に人口減少が進み、砂川町の人口が約3%の減少であるのに対して、上砂町は約9%、一番町は約12%の減少と大きく人口が減少することが見込まれます。

年齢3区分別人口の推移



	平成30年	令和10年	令和30年
合計	41,021人 (S63比+32.6%)	41,310人 (H30比+0.7%)	37,975人 (H30比▲7.4%)
生産年齢	25,355人 (S63比+12.9%)	25,453人 (H30比+0.4%)	20,678人 (H30比▲18.4%)
年少	5,247人 (S63比▲21.4%)	4,617人 (H30比▲12%)	4,063人 (H30比▲22.6%)
老年	10,419人 (S63比+482.1%)	11,239人 (H30比+7.9%)	13,234人 (H30比+27%)

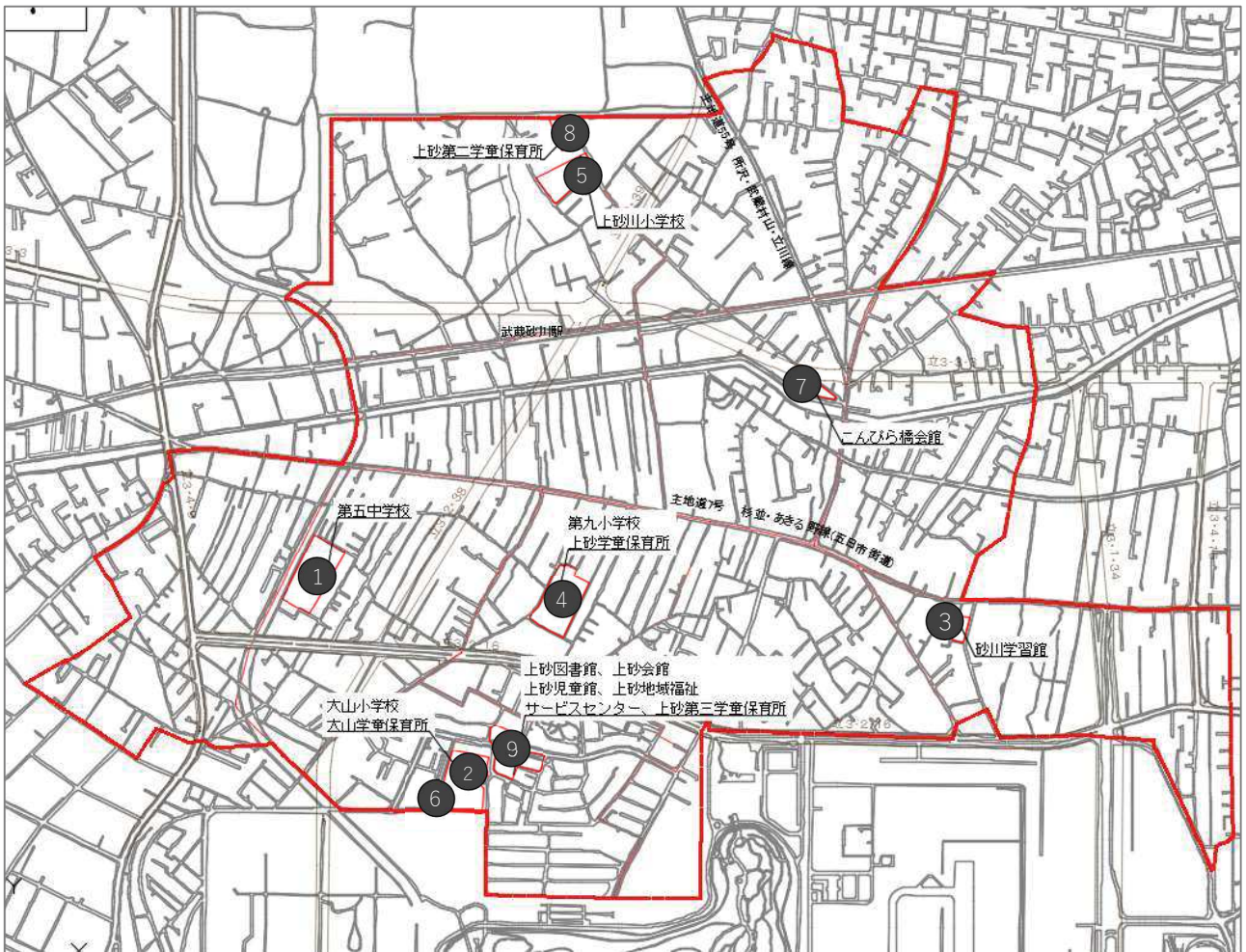
町別の人口の推移



	平成30年	令和10年	令和30年
砂川町	16,812人 (S63比+55.6%)	17,237人 (H30比+2.5%)	16,348人 (H30比▲2.8%)
上砂町	10,985人 (S63比+57.4%)	10,916人 (H30比▲0.6%)	10,024人 (H30比▲8.8%)
一番町	13,224人 (S63比+0.6%)	13,157人 (H30比▲0.5%)	11,603人 (H30比▲12.3%)

参考：立川市第4次長期総合計画後期基本計画策定のための将来人口推計調査（平成30年度）各年度「世帯と人口」

(2) 各施設の地域分布



①第五中学校

所在地	上砂町3丁目27番1号 交通アクセス:武蔵砂川駅より徒歩約12分
施設までの平均距離	最短距離:572.7m 最長距離:1,181.8m
施設面積	敷地面積:約19,007㎡ 延床面積:約9,480㎡
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上3階
現況劣化度	31.0
築後年数	57年



## ②大山小学校

所在地	上砂町1丁目5番33号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約17分	
施設までの平均距離	最短距離：609.1m 最長距離：1,200m	
施設面積	敷地面積：約16,508㎡ 延床面積：約6,460㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上3階	
現況劣化度	26.8	
築後年数	49年	

## ③砂川学習館

所在地	砂川町1丁目52番7号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約18分	
施設までの平均距離	最短距離：627.3m 最長距離：1,336.4m	
施設面積	敷地面積：約1,902㎡ 延床面積：約1,390㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階	
現況劣化度	25.0	
築後年数	48年	

## ④第九小学校、上砂学童保育所

所在地	上砂町2丁目18番1号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約10分	
施設までの平均距離	最短距離：354.5m 最長距離：990.9m	
施設面積	敷地面積：約12,370㎡ 延床面積：約6,572㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上3階	
現況劣化度	－（平成26（2014）年改修済）	
築後年数	55年	

## ⑤上砂川小学校

所在地	上砂町5丁目12番2号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約11分	
施設までの平均距離	最短距離：645.5m 最長距離：1,336.4m	
施設面積	敷地面積：約12,419㎡ 延床面積：約6,573㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上4階	
現況劣化度	31.1	
築後年数	37年	


## ⑥大山学童保育所

所在地	上砂町1丁目6番3号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約17分	
施設までの平均距離	最短距離：609.1m 最長距離：1,200m	
施設面積	敷地面積：約377㎡ 延床面積：約175㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上2階	
現況劣化度	11.3	
築後年数	32年	


## ⑦こんぴら橋会館

所在地	砂川町3丁目26番1号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約10分	
施設までの平均距離	最短距離：436.4m 最長距離：1,145.5m	
施設面積	敷地面積：約1,190㎡ 延床面積：約616㎡	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上2階	
現況劣化度	18.5	
築後年数	38年	

## ⑧上砂第二学童保育所

所在地	上砂町5丁目23番1号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約11分	
施設までの平均距離	最短距離：645.5m 最長距離：1,336.4m	
施設面積	立川市以外の団体が所有している建物のため非公表	
建物概要	鉄骨造 地上2階	
現況劣化度	—	
築後年数	6年	

## ⑨上砂図書館、上砂会館、上砂児童館、上砂地域福祉サービスセンター、上砂第三学童保育所

所在地	上砂町1丁目13番1号 交通アクセス：武蔵砂川駅より徒歩約17分	
施設までの平均距離	最短距離：518.2m 最長距離：1,118.2m	
施設面積	立川市以外の団体が所有している建物のため非公表	
建物概要	鉄筋コンクリート造 地上2階	
現況劣化度	—	
築後年数	31年	

参考：「公共施設保全計画」（平成28年度）より時点修正【築後年数】  
参考：「公共施設保全計画」（平成24・28年度）【現況劣化度】

## (3) 再編方針の検討

現況劣化度や築後年数などの定量的評価と市民ワークショップの意見やアンケートの結果などの定性的評価により、次の通り再編方針を検討します。

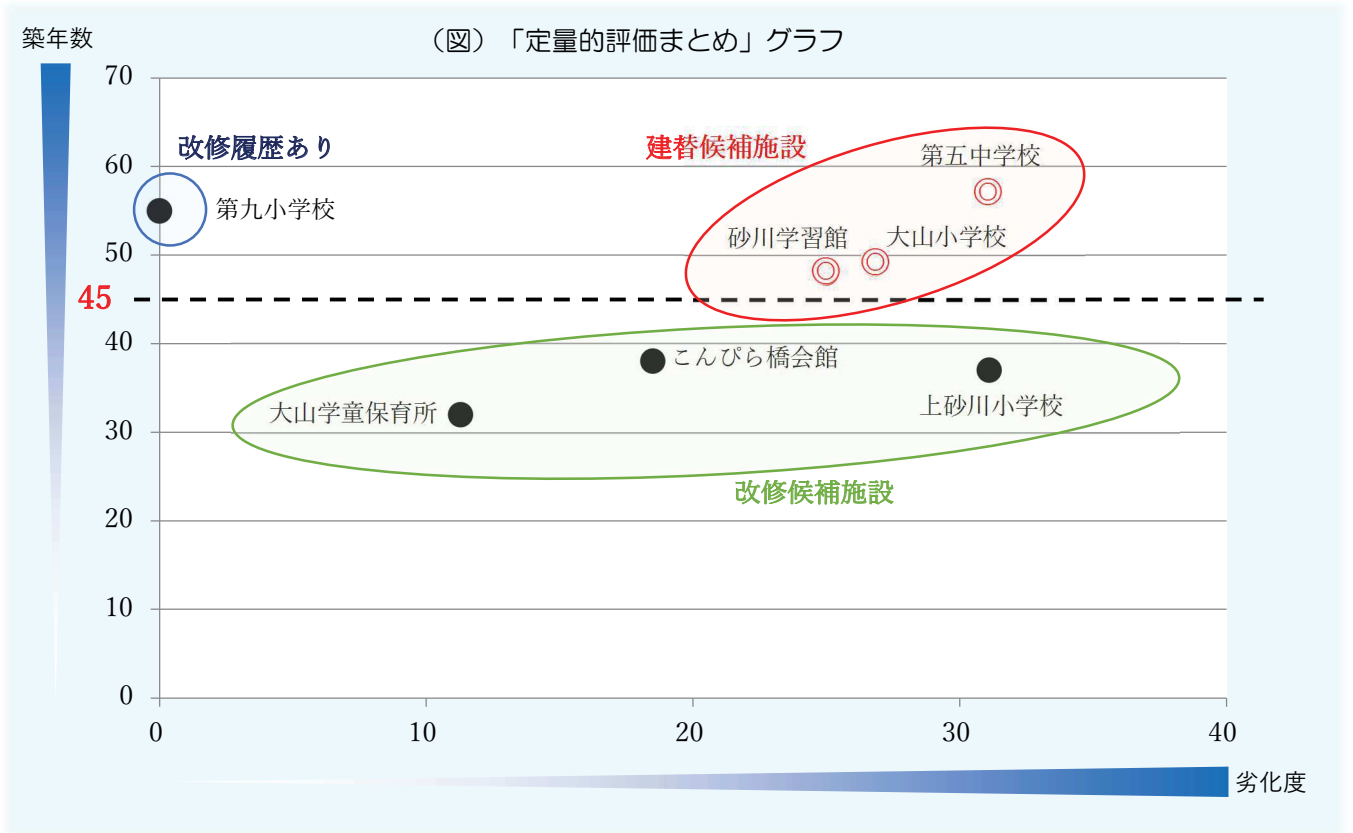
## ①定量的評価

施設名	延床面積 (㎡)	現況劣化度	改修履歴 (年度)	築後年数 (年)	地域の核となる施設
第五中学校	約 9,480	31.0		57	◎
大山小学校	約 6,460	26.8		49	◎
砂川学習館	約 1,390	25		48	◎
第九小学校 上砂学童保育所	約 6,572	—	平成 26 (2014) 年	55	
上砂川小学校	約 6,573	31.1		37	
大山学童保育所	約 175	11.3		32	
こんびら橋会館	約 616	18.5		38	

※改修工事を実施した第九小学校については、建替えまでの間、大規模な改修は実施しないため、現況劣化度の数値を削除しています。

※現況劣化度 25 以上 (劣化大)  
20 以上 25 未満 (劣化中)  
20 未満 (劣化小)

※築後年数 45 年以上 (経過長)  
35 年以上 45 年未満 (経過中)  
35 年未満 (経過短)



②定性的評価

<市民ワークショップの結果（こだわりポイント）>

市民ワークショップの結果では各グループから出された「こだわりポイント」の考えを重視します。

「こだわりポイント」の意見	圏域内での機能のバランス／コミュニティバス等を新設し、現施設へのアクセスをよくする。
	各地域に防災拠点／施設を持続的に残し、時代ごとに使い方を見直す。
	学校の空きスペース（教室）の地域開放化／防災機能の強化／第五中学校の民間貸与／学習館等の機能の見直し／駐車場の有料化
	将来的には上砂町地域（上砂川小の近辺）に、赤ちゃんから高齢者まで集える複合施設を新たに作る。
	上砂川小、見影橋保育園以外の防災拠点の分散化

※（参考）「各グループの再編案」

1グループ	コミュニティバスを新設し、現施設へのアクセス強化 【上砂川小学校】将来の上砂小改修に合わせて、複合化による機能拡充／土地の買収が必要 【第五中学校】学校施設をまとめる【市の端】隣市などとの連携
2&3グループ	【砂川学習館】砂川の歴史を含めた文化施設+高齢者対応の施設／ごみ処理施設からの余熱利用を検討【大山小学校】防災拠点／将来、学校の機能は九小に統合（児童数少なくなるため）その後、防災倉庫などに特化（建設費削減） 【武蔵砂川駅】不足している北側地域の活性化／上砂川小、見影橋保育園以外の防災拠点の分散化／持続させるために短期間で見直し／駅利用者を巻き込んだ多世代利用／民間との共同開発によって地域経済の活性化／施設利用の有料化／民間、他自治体との連携により費用圧縮を図る
4グループ	【砂川学習館】わかりやすくするため、名称変更を検討／防災機能を加える／駐車場有料化／機能の見直し／利用料の見直し【大山小学校】多機能（子育てひろば・相談業務） 【第五中学校】第九小との統合／民間貸与【上砂川小学校】多機能（子育てひろば・相談業務） 【こんぴら橋会館】見影橋公園へ移転／子育てスペース／駐車場有料化／機能の見直し／休憩スペース

<市民アンケートの結果>

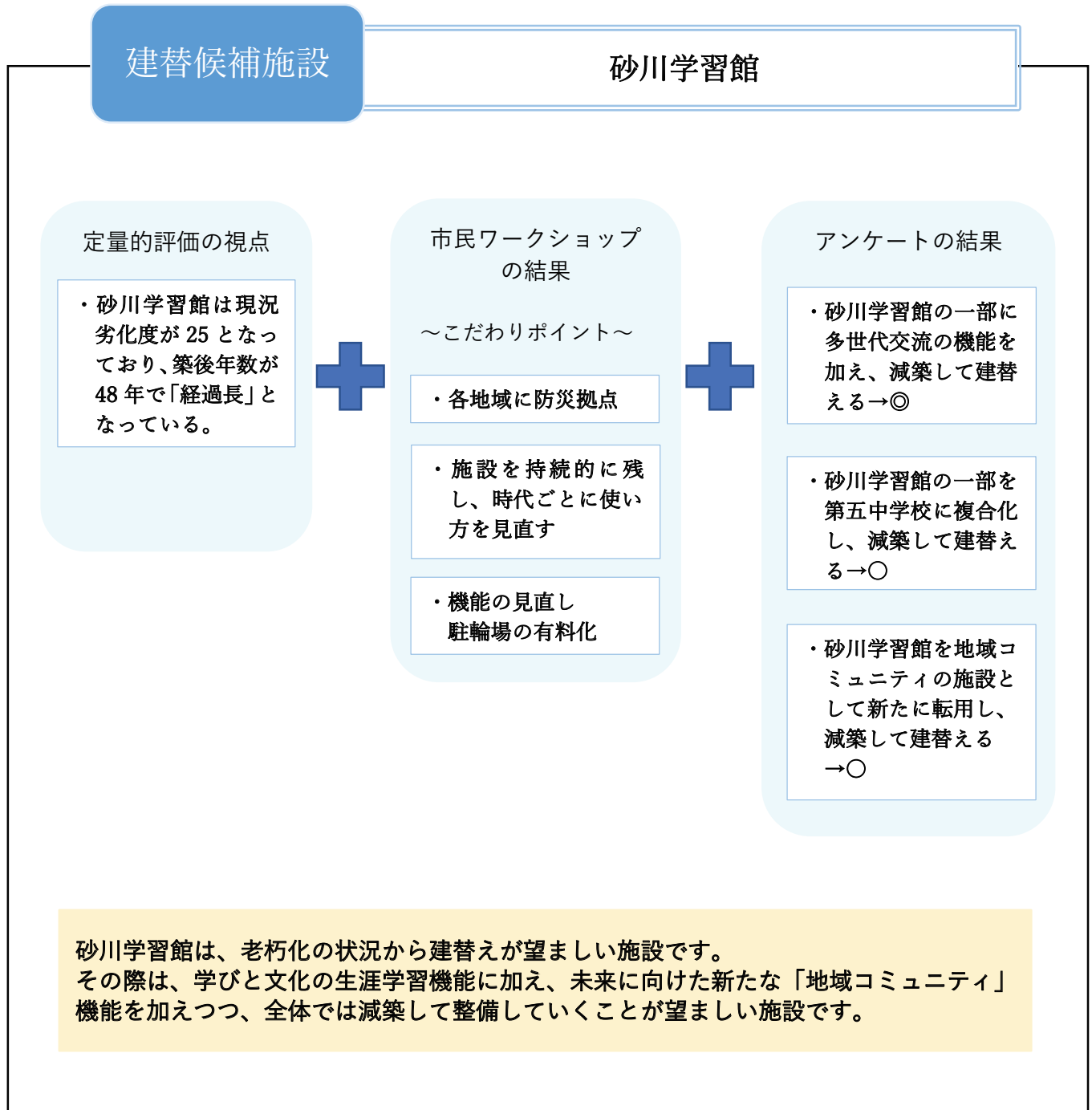
各施設の再編の方向性についてのアンケートの結果をまとめました。

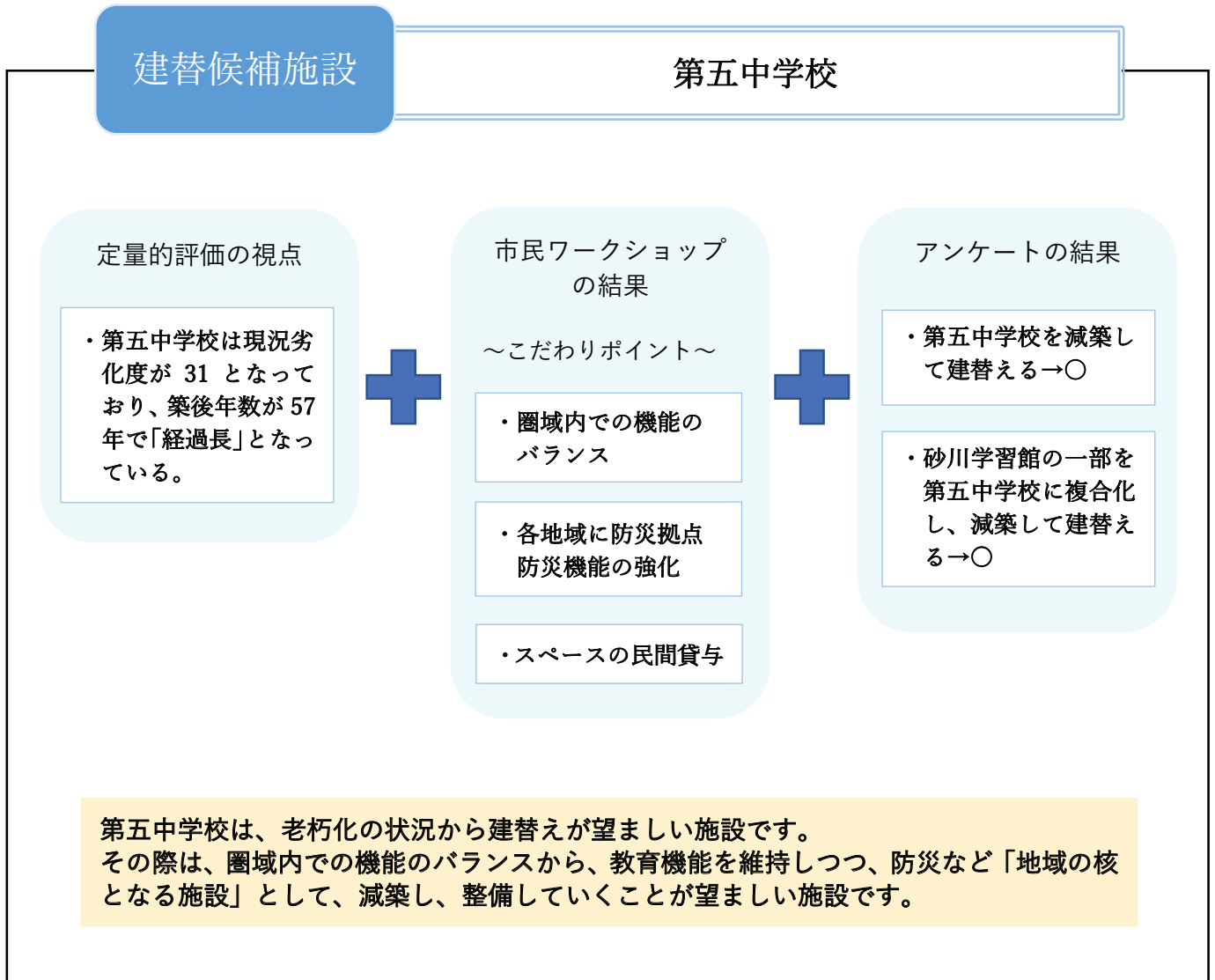
施設	アンケート結果
砂川学習館の一部に多世代交流の機能を加え、減築して建替えること	◎
第五中学校を減築して建替えること	○
大山小学校を改修すること	◎
砂川学習館の一部を第五中学校に複合化し、減築して建替えること	○
砂川学習館を地域コミュニティの施設として新たに転用し、減築して建替えること	○

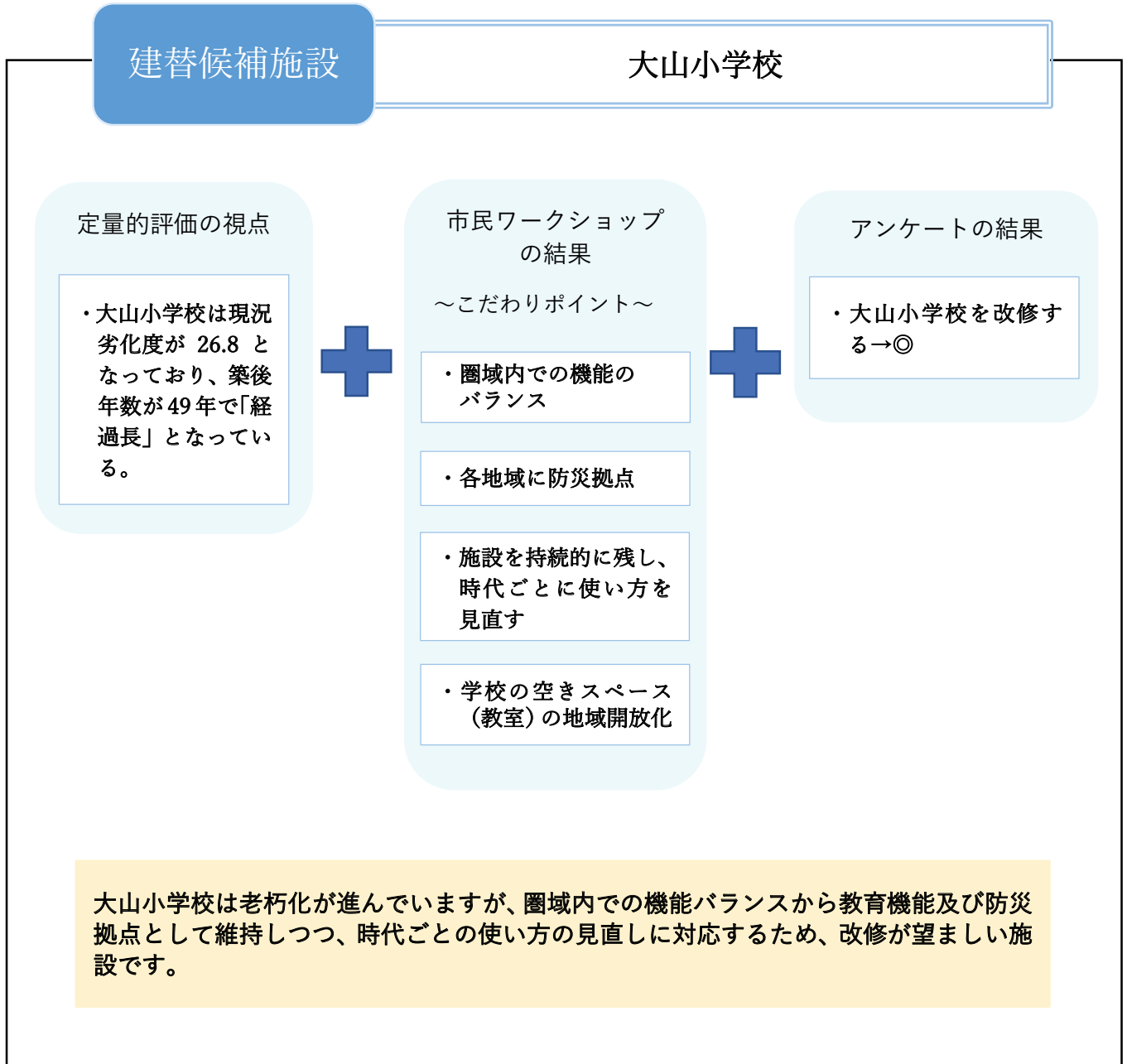
※アンケート結果の中で  
・賛成  
・どちらかと言えば賛成  
・市に任せる  
の意見を集計して  
80%以上で◎  
50%以上で○として集計



③評価のまとめ







改修候補施設

上砂川小学校 大小学童保育所 こんぴら橋会館

定量的評価の視点

- ・上砂川小学校は現況劣化度が31.1となっており、築後年数が37年で「経過中」となっている。
- ・大小学童保育所は現況劣化度が11.3となっており、築後年数が32年で「経過短」となっている。
- ・こんぴら橋会館は現況劣化度が18.5となっており、築後年数が38年で「経過中」となっている。



市民ワークショップの結果

～こだわりポイント～

- ・圏域内での機能のバランス
- ・各地域に防災拠点
- ・施設を持続的に残し、時代ごとに使い方を直す

上砂川小学校とこんぴら橋会館と大小学童保育所は、圏域内での機能バランスを考え、地域コミュニティを維持しつつ、防災、災害時に対応するため、現在地での施設機能を当面維持し、改修が望ましい施設です。

改修済施設

第九小学校・上砂学童保育所

定量的評価の視点

- ・第九小学校は築後年数が55年経で「経過長」となっているが、改修を実施している。



市民ワークショップの結果

～こだわりポイント～

- ・圏域内での機能のバランス
- ・各地域に防災拠点
- ・施設を持続的に残し、時代ごとに使い方を見直す

第九小学校・上砂学童保育所は改修を実施しているので、現在地での施設機能を維持することが望ましい施設です。

## (4) 再編方針

前記(3)の検討を踏まえて、次のとおり、「再編方針」を定めます。

当該圏域は、老朽化が進みかつ、「地域の核」となり得る学校及び学習館を中心に建替えを進めます。その他の施設は、安全性に配慮しながら改修を行い、引き続き再編を検討していきます。

再編にあたっては、圏域内での機能バランスを考え、施設を持続的に維持しつつ、砂川町役場が置かれ、地域に親しまれてきた経緯などから、未来に向けた新しい地域コミュニティの形成や、防災・災害に対応した圏域を形成します。

なお、上砂町地域の将来的な地域拠点については民間活用を含め引き続き検討します。

◎砂川学習館は減築して地域コミュニティ機能を追加して建替えます。

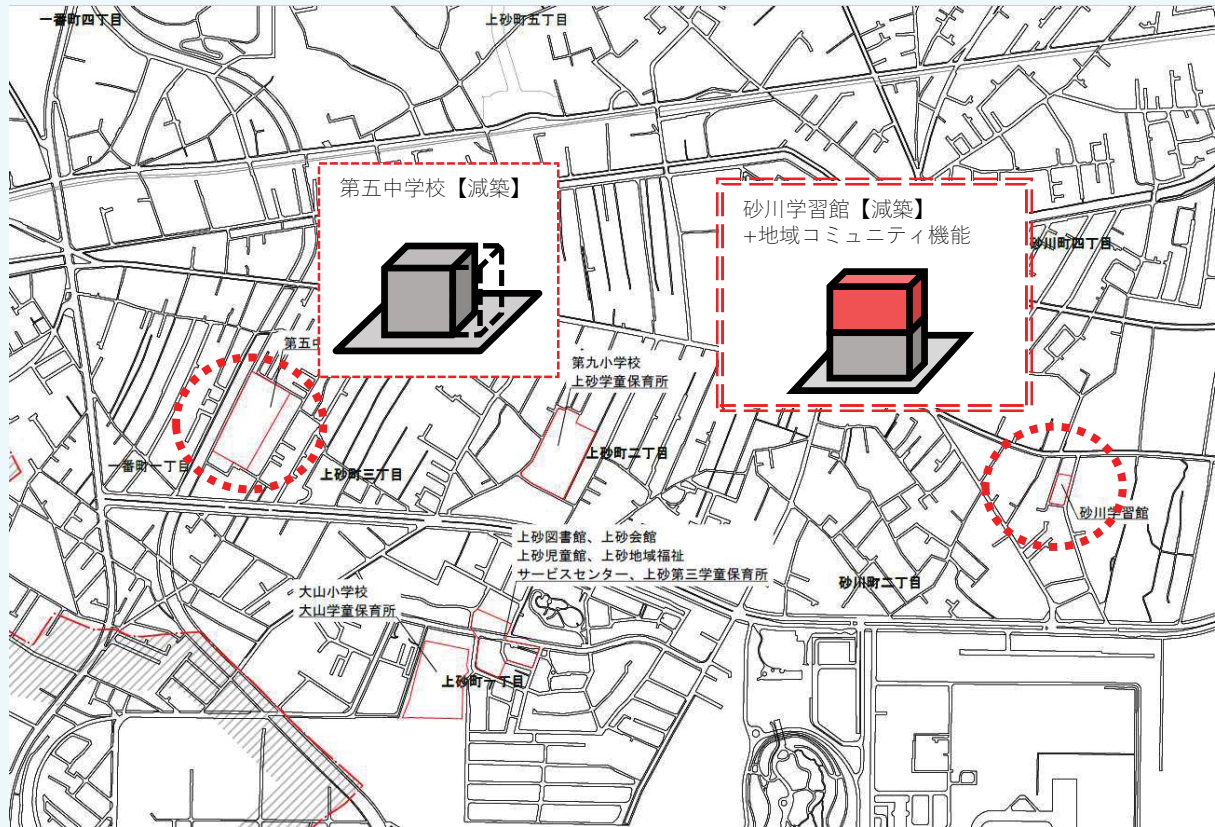
◎第五中学校は減築して建替えます。

◎大山小学校、上砂川小学校、こんぴら橋会館、大山学童保育所は改修し、第2期再編個別計画で減築・複合化等を検討します。

◎第九小学校・上砂学童保育所は第2期再編個別計画で減築・複合化等を検討します。

施設	方向性
第五中学校	減築して建替え
第九小学校 上砂学童保育所	令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
大山小学校	改修、令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
砂川学習館	減築して建替え
こんぴら橋会館	改修、令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
上砂川小学校	改修、令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
大山学童保育所	改修、令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
上砂第二学童保育所	令和11(2029)年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討
上砂図書館	(立川市以外の団体が所有している建物に配置されている機能)
上砂会館	
上砂児童館	
上砂地域福祉 サービスセンター	
上砂第三学童保育所	

再編施設



参照：図は国土地理院 HP よりダウンロードし作成

(5) 整備計画

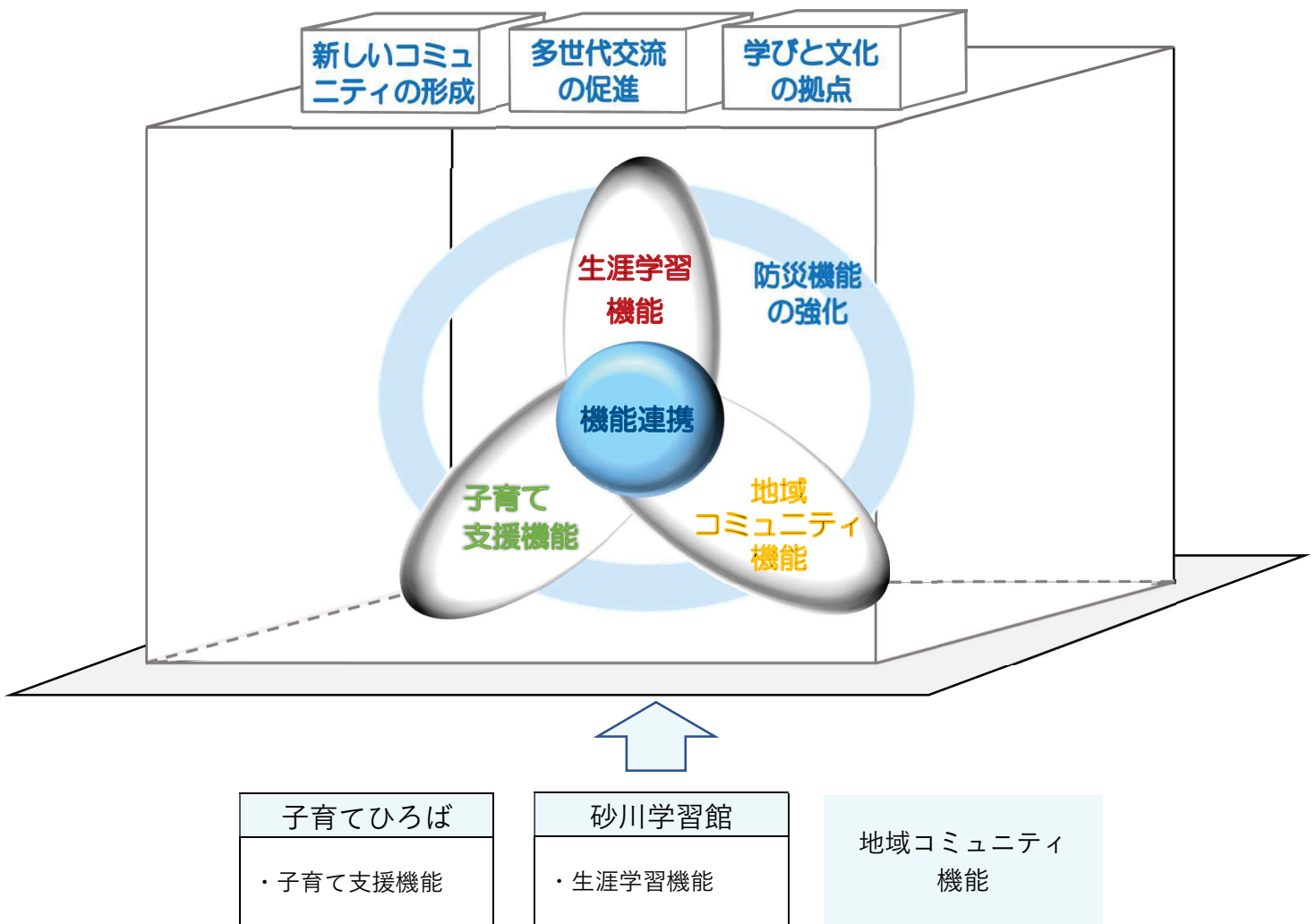
①砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設

◎整備方針

➤ 学習館で担う生涯学習機能に多世代交流による地域コミュニティ機能を加え、新たなにぎわいの拠点として整備します。

砂川学習館で担っていた機能に集会・交流といったコミュニティ機能を合わせ、減築して建替えます。複合施設は、生涯学習機能のほか、砂川地域の中央に位置し砂川町役場や砂川支所として地域に親しまれてきた経緯などから、身近な地域活動や多世代が交流する場としての機能や地域の歴史を後世に伝える機能も担います。また、二次避難所として重要な機能を担っているため、防災機能の充実を見据えて整備します。

◎複合施設の機能連携イメージ





## ◎複合施設における機能

複合施設における機能は以下のとおりです。

機能		主な内容	主な担当部署
学習館	生涯学習機能	生涯にわたるあらゆる分野の学習・文化活動を支援し、活動、表現、交流する場を提供する事業を実施します。	生涯学習推進センター
子育てひろば	子育て支援機能	子育てひろば事業を実施します。	子育て推進課
地域コミュニティ施設	地域コミュニティ機能	市民の多様な活動の場を創出することにより、市民文化の振興及び地域コミュニティの醸成を目的に設置します。	市民協働課

## ◎防災拠点としての考え方

砂川学習館は、立川市地域防災計画において二次避難所として位置づけられており、再編後の複合施設でも、二次避難所としての機能を整備する方向とします。

## ◎利用者の安全配慮の考え方

各施設の利用者の安全に配慮し、日常利用については区画（階層）を分けた機能配置とします。

## ◎計画敷地の概要

計画敷地について、建替えるための諸条件を次のとおり整理しました。

## 1) 計画敷地の利用条件

用途地域	第一種低層住居専用地域
建蔽率	40%
容積率	80%
防火地域	指定なし
高度地区	第一種高度地区 10m

## 2) 砂川学習館及び周辺の環境

所在地：立川市砂川町1丁目52番7号



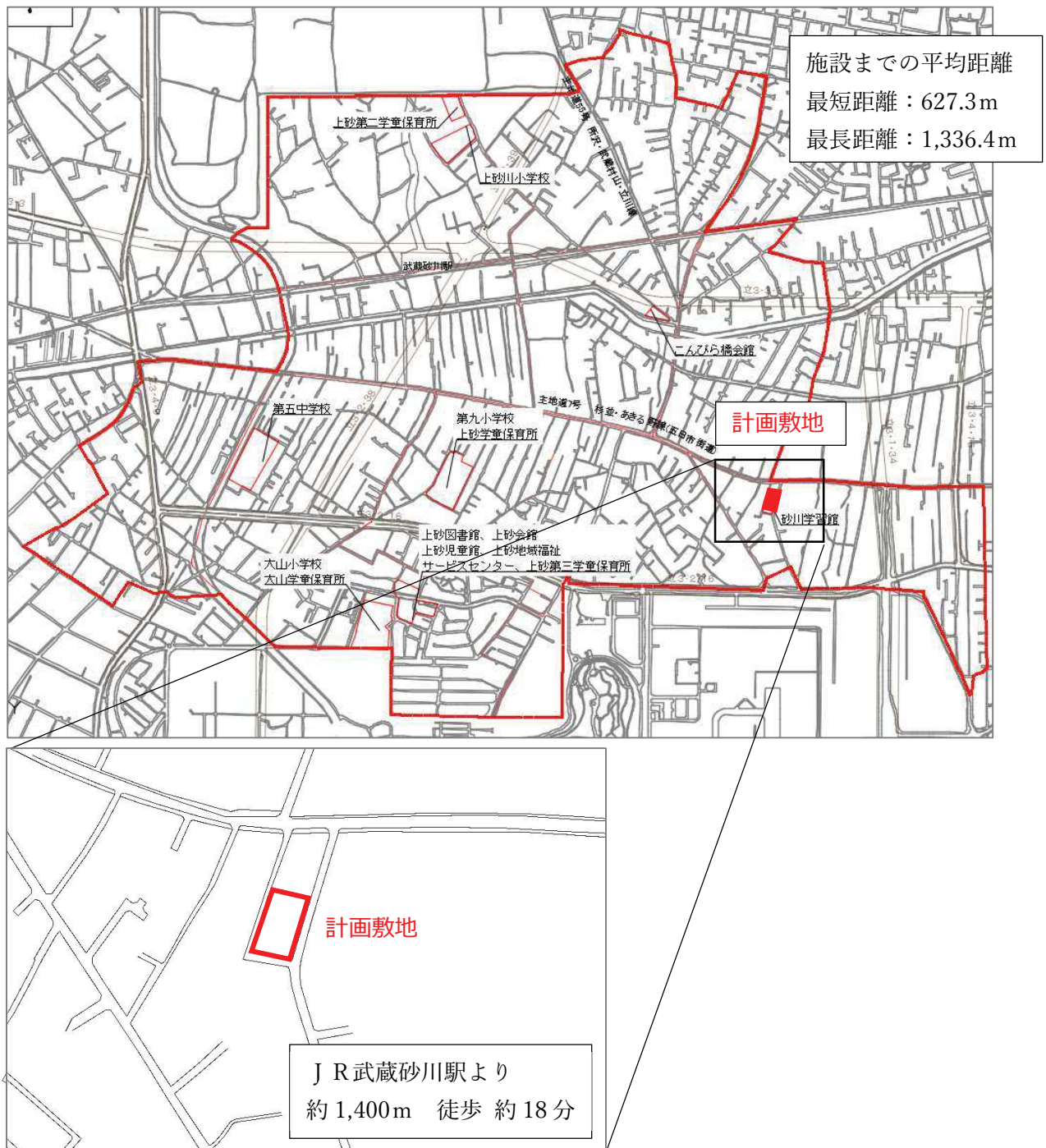
## 3) 建築可能面積

敷地面積	約 1,902 m <sup>2</sup>
建築面積	約 760 m <sup>2</sup>
延床面積	約 1,521 m <sup>2</sup>

4) 建築可能箇所等の情報

土地利用状況	学習館として利用
既存建築物	砂川学習館 鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階 床面積：約 1,390 m <sup>2</sup> 建築面積：約 511 m <sup>2</sup>
接道状況	東側道路（建築基準法道路 42 条 1 項 1 号）

5) 敷地図



## ◎面積の条件

面積削減の予測について、今後の設計に向けた上限の目安を示します。

複合施設の面積と内訳は次の通りです。削減率は、現状の施設の延床面積との比較であり、どの程度床面積が減っているかを表しています。床面積を検討した結果、管理機能は45%、生涯学習機能は14%、子育て支援機能は20%、共用部は20%の面積の削減、地域コミュニティ機能は新設の機能となっており、全体では21%の削減となっています。

対象施設延床面積	約 1,100 m <sup>2</sup>	21%削減 (現況との比較)
管理機能	約 270 m <sup>2</sup>	45%削減
生涯学習機能	約 410 m <sup>2</sup>	14%削減
子育て支援機能	約 120 m <sup>2</sup>	20%削減
地域コミュニティ機能	約 80 m <sup>2</sup>	新設
共用部 (階段・廊下等)	約 220 m <sup>2</sup>	20%削減

## ◎建物の概要

建物の建築計画は次の内容を基本としています。

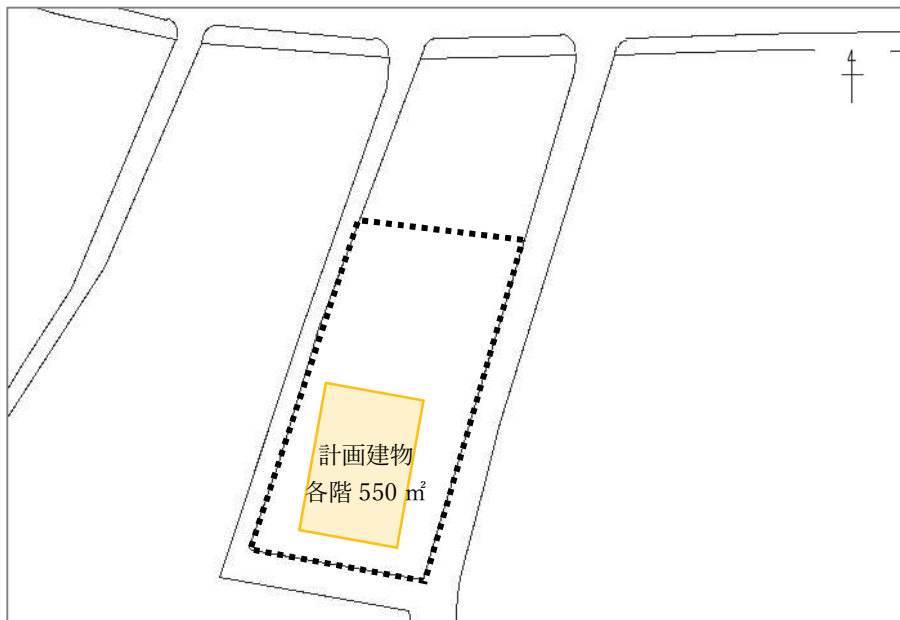
## 1) 建物概要

階数	地上2階建て
延べ面積	約1,100 m <sup>2</sup>

## 2) 機能配置と諸室の考え方

機能	諸室名	面積	概要
管理機能	事務室	約30 m <sup>2</sup>	職員の作業場所として使用します。
	印刷室	約10 m <sup>2</sup>	印刷室として使用します。
	給湯室	約10 m <sup>2</sup>	給湯室として使用します。
	トイレ	約90 m <sup>2</sup>	共用使用とし、各フロアに必要な面積を調整し配置します。
	管理関係諸室	約130 m <sup>2</sup>	倉庫やロビーなどに使用します。
生涯学習機能	学習室	約410 m <sup>2</sup>	実習室、教室、和室などに使用します。
子育て支援機能	子育て諸室	約120 m <sup>2</sup>	子育て支援、相談室、授乳室等として使用します。
地域コミュニティ機能	コミュニティルーム	約80 m <sup>2</sup>	コミュニティルームとして使用します。

## 3) 配置計画(案)(平面計画(案))



## ◎工事費概算コスト

下記条件を基に試算した工事費概算コストは次のとおりです。工事費は着工時点の状況や構造、階数などによって大きく変動する可能性があります。

主 用 途	学習館・地域コミュニティセンター
階 数	地上2階
構 造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	約 1,902 m <sup>2</sup>
建築面積	約 550 m <sup>2</sup>
延べ面積	約 1,100 m <sup>2</sup>
概算工事価格	約 6.7 億円

2019年度に東京都の市区町村で建築された「その他の教育・学習支援業務」の工事費予定額①と、2019年度に東京都で建築された「教育、学習支援業用建築物」で「鉄筋コンクリート造」の工事費予定額②を選定しました。※外構費・備品費用は含まれておりません。

	建築物の数 (棟)	床面積の合計 (m <sup>2</sup> )	工事費予定額 (千円)	工事金額 (千円/m <sup>2</sup> )
①学 習 支 援	6	2,565	179,132	698
②鉄筋コンクリート造建築物	66	221,040	89,129,610	403

①と②の平均より求めたm<sup>2</sup>単価は約 551 千円/m<sup>2</sup>となります。

平均概算工事費	550.5 千円/m <sup>2</sup>	≒ 551 千円/m <sup>2</sup>
---------	-------------------------	-------------------------

上記単価に消費税（10%）を含めた費用を記します。

消費税込工事費	606.1 千円/m <sup>2</sup>	≒ 606 千円/m <sup>2</sup>
---------	-------------------------	-------------------------

## ◎ランニングコスト

下記条件を基に試算した複合施設の概算ランニングコストは次のとおりです。

延べ面積	約 1,100 m <sup>2</sup>
階数	2 階
修繕想定期間（年単価を平準化）	30 年
概算ランニングコスト	7,265千円/年
維持管理費	3,209千円/年
光熱水費	2,276千円/年
修繕費	1,780千円/年

国土交通省が令和2年3月に発表した「国家機関の建築物等の保全の現況」を参考にランニングコストを7,265千円/年と試算しました。

## ②第五中学校

## ◎整備方針

➤ 中学校で担う教育機能、特別支援教育機能を持続的に展開する拠点として整備します。

第五中学校は普通教室の面積を拡充しますが、全体では減築して建替えます。中学校は教育機能を担うほか、一次避難所としても重要な機能を担っているため、防災機能の充実を見据えて整備します。

## ◎施設における機能

建替施設における機能は以下のとおりです。

機能		主な内容	主な担当部署
学校	教育機能	普段の学校教育の充実や教育環境の整備などを実施します。	指導課、学務課
	特別支援教育機能	中学校において、障害等により支援や配慮が必要な生徒に対する事業や環境整備等を行います。	教育支援課

## ◎防災拠点としての考え方

第五中学校は、立川市地域防災計画において一次避難所として位置づけられており、建替え後も、一次避難所としての機能を整備する方向とします。

## ◎利用者の安全配慮の考え方

各施設の利用者の安全に配慮し、校内への不審者の侵入を抑制できるよう、セキュリティが明確に把握できるようにします。



## ◎計画敷地の概要

計画敷地について、建替えるための諸条件を次のとおり整理しました。

## 1) 計画敷地の利用条件

用途地域	第一種低層住居専用地域
建蔽率	40%
容積率	80%
防火地域	指定なし
高度地区	第一種高度地区 12m

## 2) 第五中学校及び周辺の環境

所在地：立川市上砂町3丁目27番1号



## 3) 建築可能面積

敷地面積	約 19,007 m <sup>2</sup>
建築面積	約 7,602 m <sup>2</sup>
延床面積	約 15,205 m <sup>2</sup>

4) 建築可能箇所等の情報

土地利用状況	中学校として利用
既存建築物	第五中学校校舎・体育館・プール 鉄筋コンクリート造3階 床面積：約9,480㎡ 建築面積：約7,521㎡
接道状況	北東側道路（建築基準法道路42条1項1号）

5) 敷地図



## ◎面積の条件

面積削減の予測について、今後の設計に向けた上限の目安を示します。

第五中学校の面積と内訳は次の通りです。削減率は、現状の施設の延床面積との比較であり、どの程度床面積が減っているかを表しています。床面積を検討した結果、管理機能は4%、教育機能は2%、特別支援教育機能は4%、共用部は4%の面積の削減となっており、全体では3%の削減となっています。

対象施設延床面積	約 9,200 m <sup>2</sup>	3%削減 (現況との比較)
管理機能	約 1,550 m <sup>2</sup>	4%削減
教育機能	約 5,140 m <sup>2</sup>	2%削減
特別支援教育機能	約 250 m <sup>2</sup>	4%削減
共用部 (階段・廊下等)	約 2,260 m <sup>2</sup>	4%削減

## ◎建物の概要

建物の建築計画は次の内容を基本としています。

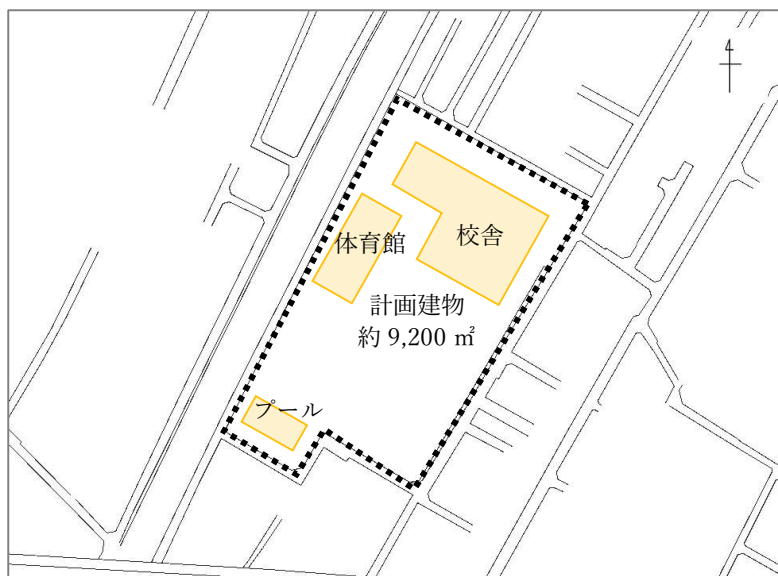
## 1) 建物概要

階数	地上3階建て
延べ面積	約9,200㎡

## 2) 機能配置と諸室の考え方

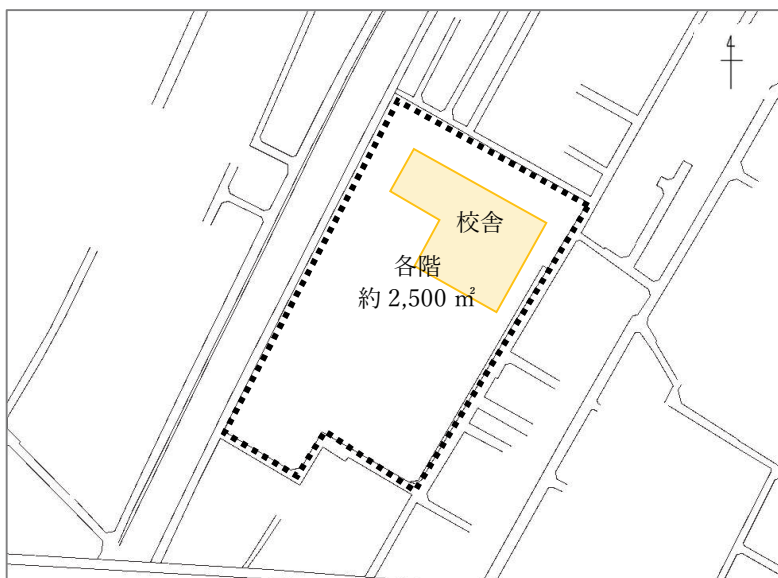
機能	諸室名	面積	概要
管理機能	職員室	約180㎡	教職員が授業以外の校務に携わるため使用します。
	事務室	約30㎡	事務職員が校務に携わるため使用します。
	校長室	約30㎡	校長室として使用します。
	更衣室	約50㎡	職員更衣室として使用します。
	保健室	約70㎡	健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行います。
	トイレ	約410㎡	共用使用とし、各フロアに必要面積を調整し配置します。
	配膳室	約80㎡	給食の提供のために使用します。
	管理関係諸室	約700㎡	PTAの活動、教材室等に使用します。
教育機能	普通教室	約1,260㎡	通常の授業を受けるための教室（18室程度）
	特別教室・準備室	約1,580㎡	教科別、用途別などに用意される教室
	体育館	約1,500㎡	体育の運動や集会などの学校行事のために使用します。
	その他	約800㎡	図書室、少人数教室などに使用します。
特別支援教育機能	職員室	約40㎡	教職員が授業以外の校務に携わるため使用します。
	教室	約210㎡	個別の教育的ニーズに対応し、より適切で効果的な指導を行うための教室

3) 配置計画 (案)



4) 平面計画 (案)

各階平面図



## ◎工事費概算コスト

下記条件を基に試算した工事費概算コストは次のとおりです。工事費は着工時点の状況や構造、階数などによって大きく変動する可能性があります。

主 用 途	中学校
階 数	地上3階
構 造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	約 19,007 m <sup>2</sup>
建築面積	約 4,000 m <sup>2</sup>
延べ面積	約 9,200 m <sup>2</sup>
概算工事価格	約 39.7 億円

2019年度に東京都の市区町村で建築された「学校教育用」の工事費予定額①と、2019年度に東京都で建築された「教育、学習支援業用建築物」で「鉄筋コンクリート造」の工事費予定額②を選定しました。※外構費・備品費用は含まれておりません。

	建築物の数 (棟)	床面積の合計 (m <sup>2</sup> )	工事費予定額 (千円)	工事金額 (千円/m <sup>2</sup> )
①学校教育用	97	165,077	63,116,040	382
②鉄筋コンクリート造建築物	66	221,040	89,129,610	403

①と②の平均より求めたm<sup>2</sup>単価は約 393 千円/m<sup>2</sup>となります。

平均概算工事費	392.5 千円/m <sup>2</sup>	≒ 393 千円/m <sup>2</sup>
---------	-------------------------	-------------------------

上記単価に消費税（10%）を含めた費用を記します。

消費税込工事費	432.3 千円/m <sup>2</sup>	≒ 432 千円/m <sup>2</sup>
---------	-------------------------	-------------------------

## ◎ランニングコスト

下記条件を基に試算した複合施設の概算ランニングコストは次のとおりです。

延べ面積	約 9,200 m <sup>2</sup>
階数	3 階
修繕想定期間（年単価を平準化）	30 年
概算ランニングコスト	60,758千円/年
維持管理費	26,836千円/年
光熱水費	19,035千円/年
修繕費	14,887千円/年

国土交通省が令和2年3月に発表した「国家機関の建築物等の保全の現況」を参考にランニングコストを60,758千円/年と試算しました。本概算コストには、プール等の費用は含まれておりません。

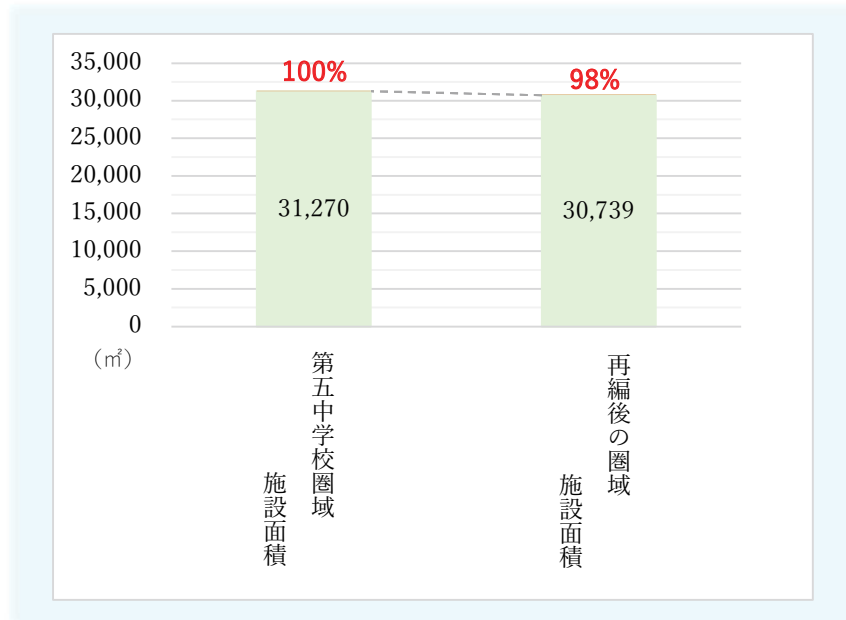
参考にプールの概算ランニングコスト6,600千円/年を含めると年間の概算ランニングコストは67,358千円/年となります。

【参考文献：東洋大学 南学（2016年3月）学校プールの共同利用と跡地活用の可能性-1 学校に1 プールを問い直す-】

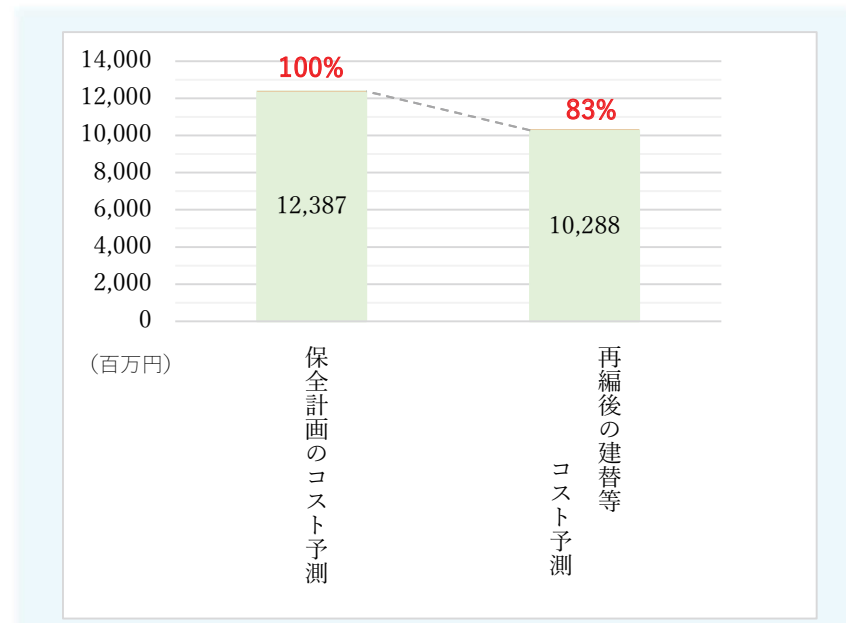
(6) 面積、コスト削減予測

再編後の面積と平成31(2019)～令和35(2053)年度までのコストの削減予測を示します。

面積削減予測



コスト削減予測



事業手法を今後検討することにより、さらなるコストの削減が見込める場合もあります。



